

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/07/28号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



60ドル台中盤で売買が交錯

NY原油先物相場は、1バレル=60ドル台中盤で売買が交錯する展開になった。7月上旬はドライブシーズンの需給ひっ迫を反映して69.65ドルまで値上がりしたが、70ドルの節目を前に上げ一服となっている。その後は調整売りが上値を抑えているが、65ドル水準では押し目買いを入れる動きも強く、週を通じて明確な方向性を打ち出せなかった。

米原油在庫は2週連続で減少しており、過去5年レンジを下回る低在庫環境にある。また、製油所稼働率は前週の93.9%から95.5%まで上昇し、製油所の原油需要も堅調。WTI原油先物は期近限月に対してプレミアムを加算した状態が続いているが、改めて買い進むような動きは見送られている。トランプ米政権が各国に通知した関税を巡って、日本との合意が実現し、欧州連合（EU）との合意も近いとの見方から、投資家のリスク選好性が高まったことはポジティブだが、株高との連動高は見送られた。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（7月18日時点）は、原油が前週比317万バレル減、ガソリンが174万バレル減、石油精製品が293万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

60ドル台中盤で売買交錯、短期需給引き締めりも上昇一服感

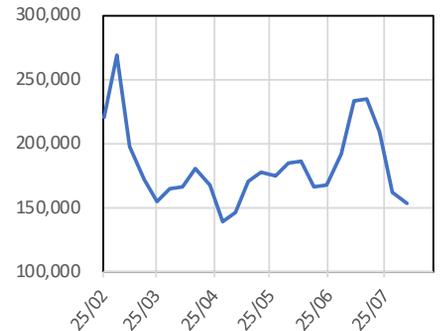
60ドル台中盤をコアに売買が交錯する見通し。ドライブシーズン中の短期需給引き締めりが原油相場を下支えするが、70ドルで抵抗を確認している。足元の需給には依然としてタイト感が残り、瞬間的に60ドル台後半を試す可能性は想定しておく必要あがる。しかし、米原油在庫の減少報告、通商環境の改善期待でも改めて原油相場を押し上げる動きは限定されたことで、徐々に上値の重さを確認していく見通し。

季節的な需給引き締め圧力は残されており、7月30日に発表される米週間需給統計は重要。前週は米原油在庫減少に目立った反応を見せなかったが、在庫水準が極めて低いことに変化は見られず、更に在庫取り崩しが進むと買いが膨らむ可能性はある。ただし、ドライブシーズン中のガソリン在庫手当てに目途が立つと、製油所稼働率が低下して需要の端境期に向かうため、短期上昇リスクとの評価に留まろう。在庫減少でも押し目買いが見送られると、下振れリスクが高まる。

より大きな上昇リスクとしては、ロシアが黒海で外国籍の石油タンカーの荷積みを制限する動きを見せていることに注意が求められる。米欧がロシア産石油に対する制裁を強化していることに対応した動きとみられるが、黒海ではカザフスタン産原油の輸送も行われており、大規模な供給障害が発生した場合には、急伸対応を迫られる可能性がある。

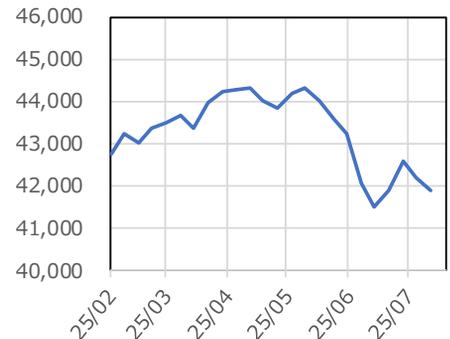
通商環境の改善期待はポジティブ。7月27日に欧州委員会のフォンデアライエン委員長とトランプ米大統領の会談が予定されている。また、7月27～30日には米中通商協議も予定されている。通商リスクの軽減評価で世界経済の先行き不透明感が後退すると、投資家のリスク選好性の高まりが原油相場を押し上げる可能性はある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



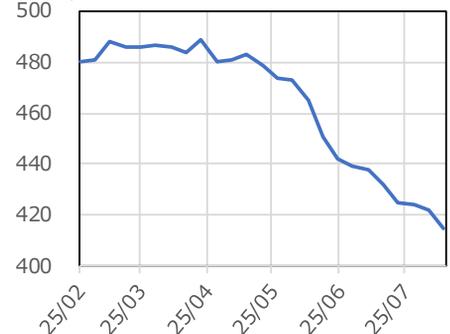
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

